

水笠遺跡の発掘調査

平成18年度の水笠通公園建設に伴う埋蔵文化財発掘調査の結果を報告いたします



発掘調査により地域の歴史が明らかに…
その後進む公園整備

水笠遺跡は平成11年度、震災復興区画整理事業に伴い発見された遺跡で、水笠通2・3丁目の範囲にひろがる集落の跡と考えられています。

これまでの調査では弥生時代、古墳時代、平安時代、鎌倉時代の遺構（いこ、昔の人が掘った穴や溝など）や遺物（いぶつ、土器や石器など生活に使われた道具）が発見されています。

水笠通公園の建設に伴う発掘調査は今回で3回目を数えます。平成15年度の調査では古墳時代後期（今から約1,500年前）の掘立柱建物（ほったてばしらたてもの）が見つかり、集落の一部が姿を現しました。平成17年度の調査では、溝（みぞ）や柱穴（はしらあな）が見つっています。今回の調査では特に古墳時代の集落の広がりや、建物を取りまく周辺の様子を知る上で重要な資料が得られました。

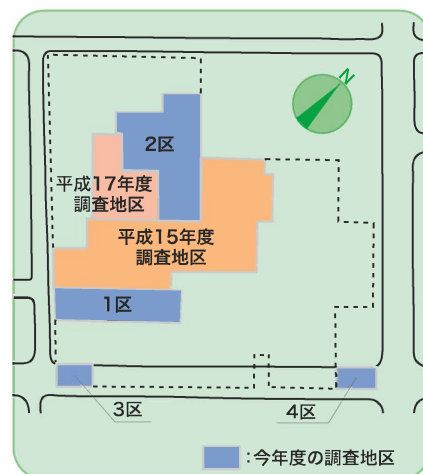
◇今回の調査の概要

調査期間：平成18年10月16日～12月27日

調査面積：1～4区 計約1,200㎡

◇見つかった遺構

- ・弥生時代（今から約2,000年前頃）の田畑の痕跡（こんせき）と考えられる溝
- ・古墳時代の建物の一部と田畑の痕跡
- ・室町時代（今から約500年前）の終わり頃の柱穴
- ・江戸時代（今から約300年前頃）の水ため
- ・江戸時代の終わり、あるいは明治時代（今から約150年前頃）から現代にかけての建物やごみ穴、溝など





弥生時代の人の落とし物？
石のやじり 長さ約2cm



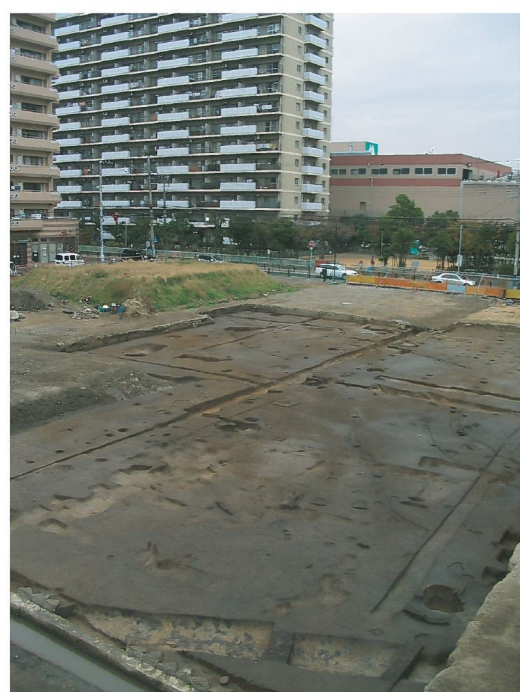
古墳時代の田畑の跡
溝の中に鋤の跡が刻
まれています



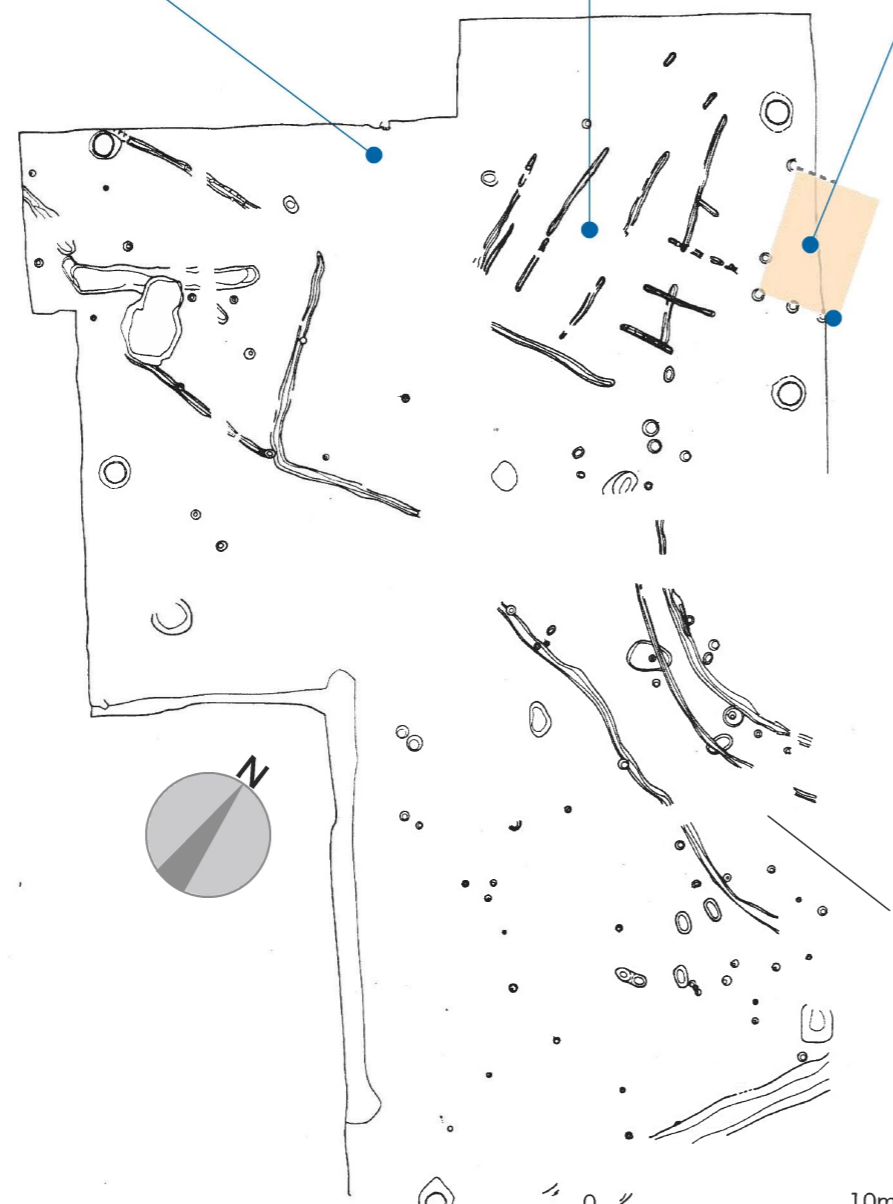
古墳時代の建物の一部が見つ
かりました。現代の建物の基
礎により失われていますが、南
北に5本の柱が並ぶものと思
えられます



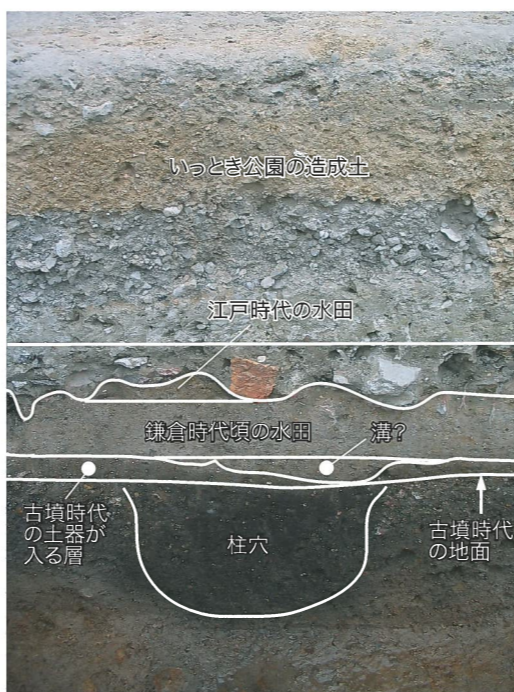
溝や柱穴に捨てられた土器
溝は古墳時代、柱穴は弥生時代と
考えられます



調査区全景(南東から)



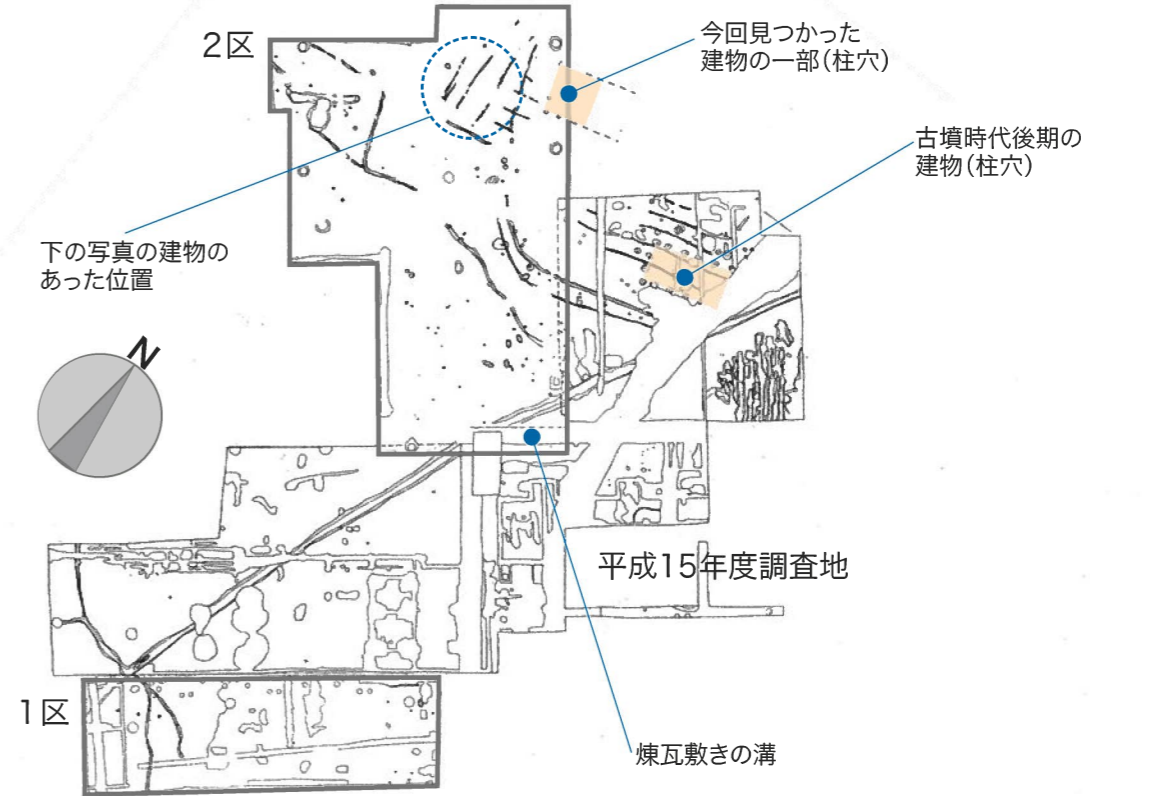
現代の建物の基礎などの表現は省略しています



土の堆積の様子



ゆるやかに曲がる溝。昔
の地形に沿って掘られた
と考えられます。



縮尺 1:800



上左: 明治時代以降の礎石(そせき)を持
つ立派な建物の痕跡(こんせき)で
す
上右: 建物の南側で発見された、甕(かめ)
の中にあるんな色の石を詰めたも
ので、地鎮(じちん)に用いられたと
考えられます
下左: 2丁目の街中にあった路地(ろじ)の
側溝(そっこう)です。一部に明治時
代に焼かれたと考えられる煉瓦
(れんが)も残っていました

今回、最も多くの土器や遺構が見つかった2区の様子です。現代の建物の基礎や、江戸時代などに水田を造る際、地面が削(けず)られてしまったため、古い時代の遺構の残りはあまりよくありませんが、溝や柱穴から弥生時代や古墳時代の土器が見つかっています。
古墳時代の建物は調査地の北の端(はし)で見つかり、さらに調査区の外にのびます。平成15年度に見つかった建物に並行するように建てられています。建物の西側には規則的(きそくてき)に並ぶ幅15cmほどの細い溝がありますが、これは田畑の耕作の痕跡です。
調査地の南側半分は杭跡(くいあと)が見られる程度で遺構が少なくなり、土器の出土量も減ります。地面はやや傾斜(けいしゃ)して湿地(しっち)のような状況になります。

これらは、皆様のご記憶にも残っている風景かもしれません…



1区 (左)全景
(上)溝の発見

1区では調査地の西の方で弥生時代の溝と古墳時代の溝をそれぞれ1条(じょう)確認しました。

溝の周りには牛の蹄(ひづめ)の跡がたくさん残っていました。溝は田畑に伴うもので、牛を使って耕(たがや)していたのでしょう。

その他、古墳時代の土器の破片が入った柱穴が5基見つかりましたが、建物として復元できませんでした。



3区 (左)全景
(上)溝の発見

3区では東西方向の溝が見つかりました。やや幅の広い溝で、水笠通3丁目の街路(がいろ)部分の調査で見つかった弥生時代と考えられる溝の続きと推測されます。

その他には、杭(くい)の跡と考えられる小さな穴を確認しました。



4区 (左)全景
(上)湿地に埋もれた土器

4区は現代の建物の基礎や水道管の埋設(まいせつ)によりすでにほとんどの部分で遺跡が失われていました。地面は軟弱(なんじゃく)になり、集落の端(はし)に位置するものと思われます。溝1条と杭が見つかったほか、北側の地形的に高い部分から流れ込んだ古墳時代の土器がまとまって出土しました。これらの場所は水田として利用されていたのでしょう。

近隣の皆様方には発掘調査期間中、何かとご迷惑をおかけしました。今回の調査により、古墳時代の集落のひろがり確認され、また田畑としてすでに弥生時代からこの付近で人々が生活を営んでいた様子がわかりました。地域の歴史の一コマとして、ご記憶にとどめていただければと思っております。

周辺には集落の跡をはじめ、さらに遺跡のひろがり予測されます。今後の発掘調査の実施に際してもご理解、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。